

偏微分方程式の解の構造の研究

京都大学数理解析研究所

1984年7月

禁帯出期間

59. 7. 25— 8. -1

数研図書室

偏微分方程式の解の構造の研究

研究集会報告集

1981年11月12日～11月14日

研究代表者 松浦 重武 (Shigetake Matsuura)

目 次

1. 内部領域における消散項を持つ非線型双曲型方程式の大域解----- 1
筑波大 数学 柴田 良弘 (Yoshihiro Shibata)
- 2 ある種の多重特性的な擬微分方程式系の解の構造
——正則性の伝播と解析的準楕円性——-----21
東大 理 大阿久 俊則 (Toshinori Oaku)
3. Flat Cauchy 問題のwell-posednessの必要条件と解のregularity-loss -----37
京大 数理解 萬代 武史 (Takeshi Mandai)
4. Laplacian のDirichlet 問題の第1固有値-----62
京大 理 島倉 紀夫 (Norio Shimakura)
5. 偶数次元空間における散乱理論-----73
茨城大 育 曾我 日出夫 (Hideo Soga)

京都大学

85088524

図 書

数理解析研究所